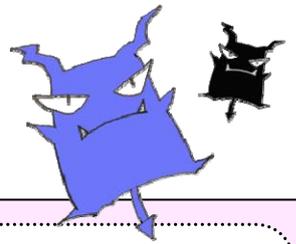


京都市こどもの感染症



腸管出血性大腸菌感染症

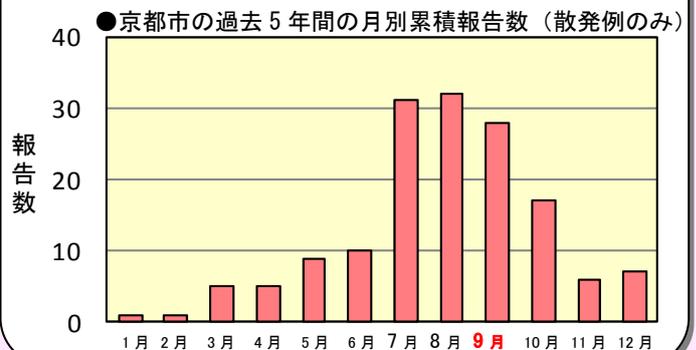
症状

「O157」など、腸管出血性大腸菌に感染すると、激しい腹痛や下痢、血便などの症状が出ます。

抵抗力の弱い乳幼児等は、感染しやすく、重症化する事もあります。



★9月も多く発生しています！！



★感染のポイント！！

- ◆非常に少ない菌量でも感染します。
- ◆菌に汚染されていれば、新鮮な食品でも感染します。

★予防のポイント！！

- ◆食品を十分に加熱しましょう。
- ◆焼き肉やバーベキューのときは、生肉に触れたおはしと食べるおはしは別々にしましょう。
- ◆乳幼児の食事の調理・管理には、特に気を配りましょう。
- ◆手洗いは感染予防の基本です。徹底しましょう。



腹痛や血便等の症状が出た時はすぐに医療機関に受診しましょう。

◆内容に関するお問い合わせ先◆

○お近くの保健センター

○京都市保健福祉局 保健医療課 (TEL:075-222-4421 FAX:075-222-3416)

○京都市衛生環境研究所 管理課 (TEL:075-312-4942 FAX:075-311-3232)

(衛生環境研究所のホームページからもご覧になれます。)